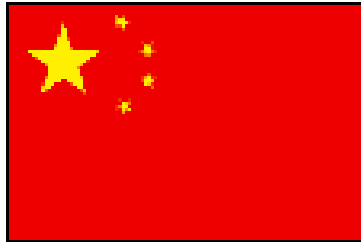


# ✻✻ハ王子国際フレンドからのメッセージ✻✻



## 中国



## プロフィール

名前：蒋 巧芳（ショウ コウホウ）  
出身：中国浙江省寧波市  
日本在住：4年10ヶ月  
趣味：書道



## 🍁 日本での暮らし紹介 🍁

私は、拓殖大学国際学部3年生の蒋 巧芳といます。

私が初めて日本に来たのは、2009年4月23日で、翌24日は学校が始まる日でした。当時、私は日本語が全く分からず、携帯電話も持っていませんでした。母と話をするためには、パソコンでメールをするしかなく、私は母を安心させるために、先輩に教えてもらったインターネットカフェを利用することにしました。

インターネットカフェは、私が住んでいる寮から電車で一つ目の駅の近くにありました。初めて利用した時に困ったことが起こりました。私は、母とメールでやり取りをした後、家に帰ろうと電車に乗りましたが、到着したのは知らない駅でした。今思えば、急行に乗ってしまったのだと思います。

雨が降るなか、途方に暮れた私はタクシーに乗りました。運転手さんに寮がある

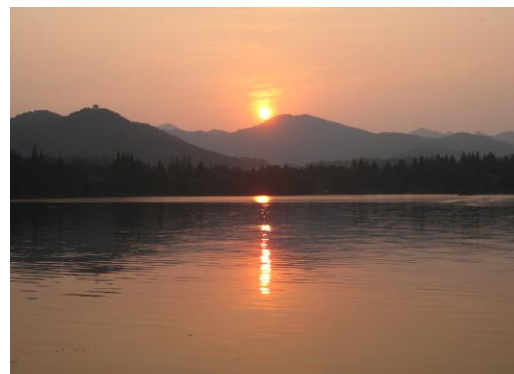
駅の名前を伝えようとしたのですが、中国語しか話すことができないのでうまく伝わりません。駅の絵を書いたり、漢字で説明したりしました。その間にもタクシーはぐるぐるといろいろなところを走り、メーターがどんどんあがっていきます。私は少し怖くなって、運転手さんの名前をメモしました。

そうこうしているうちに、私の目に見たことがある景色が映り、私はほっとしました。タクシーを降りる時に、運転手さんは料金を少し安くしてくれて、私に何か話しかけましたが、その時の私には分かりませんでした。私は運転手さんに感謝の言葉をたくさん言いたかったのですが、それもできず、ただ「ありがとう」とだけ言いました。

これが、私が日本に来て初めて一人で経験したことです。このことが私の日本に対する印象をとてとても良いものにしてくれました。今でも、この運転手さんの名前は覚えています。私が今、こうして日本に暮らしているのも、この運転手さんのおかげと言っても過言ではありません。いつの日か、このことを運転手さんに伝えられたら、とても素敵なことだなと考えています。

## 故郷の紹介

私の故郷である浙江省は、中国の仏教史において、重要な地位を占めています。南宋時代に「禅宗五山」と呼ばれた最高の格をもつ五つの禅宗寺院や、日本の高僧・栄西が修業した天台山万年寺は、浙江省にあります。日本へ仏教が渡来した時期には、日本から大勢の学僧達が、寧波から杭州へ入って修業しました。



浙江省の夕陽

中国におけるお茶の歴史は古く、唐の時代に陸羽という文筆家が『茶経』三巻をまとめたことが知られています。

日本には、お茶は遣唐使によってもたらされましたが、遣唐使の制度がなくなると輸入も止まり、日本人がお茶を飲むこともなくなっていました。

栄西は、平安時代末期から鎌倉時代初期（中国では南宋時代）の僧です。天台山万年寺で禅宗の教えを修業し、日本仏教の興隆に力を注ぎました。

当時、中国の禅寺では抹茶を仏前に供える習慣があり、座禅の時に眠気を無くす

効用や薬用としての効果があったことから、抹茶は禅僧に好まれ普及していました。万年寺で修行している時にこのことに触れた栄西は、喫茶法や効能などを日本初の茶の専門書『喫茶養生記』としてまとめました。

日本に帰った栄西は、京都で天台・密教・禅の三宗兼学の道場として、建仁寺を開山しました。その後、火災などで荒廃した建仁寺を復興したのが、東福寺を開山した円爾という僧です。

「禅宗五山」の一つである径山万寿禅寺は、杭州市余杭県の北西部にある禅寺で、杭州武林広場から約55km、車で約一時間、天目山北東にあります。この寺は、唐の時代に建立され、戦争により何度も破壊されましたが、その度に再建されました。

現在の建物は、1997年に修復されたもので、海拔530mのところにあります。

寺の近くには、竹林に囲まれた美しい茶畑が広がっています。



厳肅にそびえ立つ径山万寿禅寺



杭州市特産の龍井茶（ロンジンチャ）

円爾は、鎌倉時代中期（中国では南宋時代）の僧で、1235年から径山万寿禅寺で修行。1241年に帰国してからは、多くの寺を開山するとともに、全ての修行僧にとって生活規範となる戒律集『禅苑清規』をもとに、『東福寺清規』を制定しました。

『禅苑清規』には茶礼に関する定めが細かく書かれていたことから、『東福寺清規』にも喫茶の儀礼が多く記述されました。

円爾は、宋から持ち帰った茶の栽培を広めたことから、「静岡茶の始祖」とも称されています。

このように、多くの日本の高僧が浙江省に修業に訪れ、禅とともに、中国の茶の儀礼や技術、道具を日本に伝え、これをもとに日本の茶道は形成されていきました。

特に、径山万福寺の「闘茶」「茶会」「茶宴」は、日本の茶道の重要な源であると言われています。日本文化の源を見に、皆さんも私の故郷に遊びに来てください！